

保健師職能委員会だより

Vol. 4 令和7年2月発行

日頃より県看護協会保健師職能委員会の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

今年 2025 年は、地域包括ケアシステム構築において指標としてきた「団塊の世代がすべて 75 歳となる年」。高齢人口の急増への対策に焦点をあてた施策がそれぞれ行われてきましたが、少子化に歯止めがかからず、現役世代の急減へと人口局面が変化し、今後は、2040 年に向けて地域の様相は一層変化していくものと思われます。このような中、私たちは、保健師活動の技術を伝承するとともに、多様化・複雑化する多問題を抱える事例へのマネジメント力や健康危機管理への対応力等を備えた人材育成の取組が重要と捉えています。

当委員会では、多様な課題に立ち向かい、よりよい公衆衛生看護活動を展開できるために、職域を超えた保健師同士のつながりや看護職間の連携を強化し、地域住民の健康と療養を支援するため、様々な研修会や合同集会等を開催いたしました。今年度の委員会活動についてご報告させていただきます。

令和6年度 岩手県看護協会保健師職能委員会

活動目標

保健師が住民の暮らしを守り、地域の健康課題に適切に対応できるよう、専門職としての資質向上及び力量形成につながる活動を行う

活動方針

- ◆保健師を取り巻く社会的な課題と役割を明確にし、意見を集約する
- ◆保健師相互及び多職種の交流・連携を図り、全世代の健康と療養を支える地域包括ケアの推進に関する活動を行う
- ◆保健師の専門職としてのキャリア形成に関する現任教育の取組を推進する
- ◆地域における健康危機管理体制の強化に関する活動を行う

保健師研修会（8月3日開催）

講演 「“頼る力”を高めよう」～自分も、家庭も、仕事も大切にしたい
あなたの「受援力」を磨くために～

講師 神奈川県立保健福祉大学大学院 教授 吉田穂波氏

自治体、教育機関、産業分野、施設等勤務、個人会員と各分野から幅広い年代の保健師が参加しました。

受援力とは、他者に助けを求め、

快くサポートを受け止める力であること、

けっして頼ることは、はずかしいことでないこと、

頼ることはつながること、

とのお話がありました。



参加者は、保健師という職業は支援を求められることが多く、困った時や辛い時があってもつい頑張ってしまうことや自ら支援を求めることを忘れてしまうことがあると感じていました。グループワークでは、同年代のメンバーで、相談するときの口ぐせや人に何かを相談することについて語り合いました。頼って当たり前の雰囲気づくりがあれば頼った相手も頼りやすくなること、つながりがもてること、ソーシャルキャピタルにもつながっていくことを実感しました。

また、頼るスキルとして、K（敬意）、S（存在承認）、K（感謝）を理解しておくことで、お互いにより関係ができることも学びました。

さらに、受援力を発揮するためのスキルとして頼りやすい雰囲気づくりのための声かけの紹介もあり、今後、職場や家庭など私生活においても実践できるものばかりでした。

一人ひとりが自分らしく、何でも言い合える、否定されないと感じるような配慮をしながら、参加者は伸び伸びと意見を言い合える関係性を保ち、積極的なグループワークや発表がされました。

吉田先生の穏やかな温かい声での経験を交えたご講演には、参加者も癒され、助けを求めることは弱さではないということを改めて考える機会となり、たいへん有意義な研修となりました。

34名の方にご参加いただきました（参集開催）。



講師の吉田氏の笑顔に癒されたグループワーク



保健師職能委員交流会（8月31日開催）

テーマ みんなで語ろう「保健師確保・人材育成のために取り組んでいること」

全国保健師交流集会での地域の状況に応じた保健師の人材育成、確保のあり方について話題提供し、各支部での活動状況、保健師確保・人材育成のための取組について情報を共有しました。

- 支部の研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染対策に関するものが多かったこと。オンラインでの研修から参集型に戻ったことで、意見交換が活発にできたこと。参集型だと参加者が少ないこともあり、オンラインとのハイブリッド型も望ましい、などが挙げられました。
- 保健師確保、人材育成への取り組みについては、キャリアラダーの活用や統括保健師との面談で自己点検し、自己啓発を図っていること。新人育成マニュアルを作成し活用していること。新任期の保健師への研修会を実施していること。実習生を積極的に受け入れていること。分散配置のため、毎月の保健師ミーティングで進捗状況を報告しアドバイスをもらったり、雑談の中からアイデアが生まれたりしていること。毎月勉強会を参集型で開催し、知識だけでなく保健師同士のつながりを深めていることを共有しました。
- 会員拡大については、どの支部でもなかなか入会に至らないという共通の課題があり、メリットや魅力を伝えていく必要があることを確認しました。メリットは研修会だけでなく、協会の中でつながり、情報共有や意見交換ができることが協会の強みであることも確認しました。

活発な意見交換により、他支部の活動の状況や新しい職能委員とのつながりができ、有意義な交流会となりました。

参加者：15名（8支部8名、本部6名、保健師担当理事 森川副会長）

自治体保健師の魅力発信のためのイベント（12月21日開催）

保健師の人材確保が困難な自治体がみられる中、自治体への就職に興味、関心をもつ看護学生に保健師の活動と魅力を伝え、保健師の道を選択してもらうことを目的として開催しました。6年度の参加自治体は、6自治体（一関市、大船渡市、北上市、岩泉町、田野畑村、普代村）で、岩手県内の大学及び専門学校の看護学生17名の参加がありました。

前半は、保健師3年目の矢巾町の保健師 山田芽生さんから「自治体保健師になろう！」と題し、保健師を目指したきっかけ、保健師として活動する中での苦労ややりがいについて、岩手県保健福祉部の保健師 湊香奈子さんからは、「自治体保健師への道」と題し、主に県で働く保健所保健師の仕事について、災害発生時の支援活動にも触れながら、保健活動の魅力を伝えていただきました。

後半は、参加自治体ブースを学生が訪問する形式で、自治体の特色や力を入れている保健活動などを直接学生に伝えていただきました。各自治体、ご当地キャラクター（マスコット）や観光地のポスターやのぼり旗を掲げるなど工夫を凝らし、学生へのプレゼンテーションも熱く、学生も楽しそうに、そして真剣に聞き入っていました。

参加した学生からは、「昨年も参加したが、今年は参加している全市町村から話を聞くことができた。地域住民に近い保健師になりたい。各地域のカラーがあり、職員に元気があった。来年もぜひ参加したい。」などうれしい感想が聞かれ、自治体保健師の魅力が大いに伝わる機会となりました。



令和7年度 研修会等のご案内



現在、決まっている事業についてお知らせします。詳細は、開催通知または岩手県看護協会の研修申込サイト「manaable」(※職能委員交流会は除く)にてご案内いたします。

参加申込は、岩手県看護協会ホームページ研修申込サイト「manaable (マナブル)」からお願いします。なお、参加費についても「マナブル」でご確認願います。(マナブル おすすめです！自分の研修履歴を残せます！)

事業名	日時・会場	内 容
保健師研修会	9月27日(土) 13:30~16:30 会場 調整中	第一部 講演・演習 『疲れた心を癒す セルフ・コンパッション』(仮) 講師 武蔵野大学 ウエルビーイング学部 ウエルビーイング学科学科長 教授 秋山美紀氏 第二部 活動実践報告 県内自治体の保健師活動紹介 対象 県内在住の保健師/看護協会会員・非会員
<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;"> 秋山美紀先生は、「保健師ジャーナル Vol.79 No.05 2023」から連続掲載されました。 </div>		
職能合同集会 (ハイブリッド開催)	9月6日(土) 13:00~14:50 岩手県看護研修センター	講演 「頼るスキル、頼られるスキルの磨き方 ~受援力を発揮する「考え方」と「伝え方」のコツ~」(仮) 講師 神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 教授 吉田穂波氏 対象 県内の看護職/看護協会会員・非会員 学生(オンライン参加のみ、参加費無料)
※保健師職能 委員交流会	9月6日(土) 15:15~16:30 岩手県看護研修センター	みんなで語ろう！ 「保健師職能の強化 ~保健師のネットワーク及び組織力強化に向けて、アイデア・手立てを考えよう~」 対象 岩手県看護協会 10 支部の役員・委員の保健師職
保健師スキル アップ研修 (オンライン研修)	10月24日(金) 13:30~16:30	講演 「行動変容を導くナッジの利いた保健活動」 講師 青森大学 特任教授 竹林正樹氏

看護協会への入会をお待ちしています！

看護協会では、「保健師の人材確保」や「保健師のキャリア形成支援」などの事業を展開しています。保健所をはじめ市町村、企業等の産業分野で保健師として働く中で、「もっとこんな保健師活動がしたい」「スキルアップしたい」という思いを抱えていませんか？

看護職間の連携がすすめられる中、職域を超えた保健師同士の交流はもちろん、看護師・助産師とのネットワークも広がります。入会をお待ちしています。

岩手県看護協会会員数(令和6年12月31日現在) 7,605人(保健師298人)

◆◆◆ 令和6年度保健師職能委員会担当理事及び保健師職能委員の紹介 ◆◆◆

- ◎担当理事 森川 一枝 (岩手県看護協会 副会長)
- ◎委員長 浅沼 圭美 (所属：障害者支援施設 新生園)
- ◎副委員長 小川 陽子 (所属：紫波町役場)
- ◎委員 菊田 誠子 (所属：久慈保健所)
- ◎委員 村山 美保 (所属：岩手医科大学健康管理センター)
- ◎委員 中村 美恵子 (所属：盛岡市役所)
- ◎委員 芳賀 美佳 (所属：宮古市)



入会のお申込は
コチラから

